

## ■東京外かく環状道路（外環本線）について

### 1 事業概要

- 東京外かく環状道路は都心から約15kmの圏域を環状に連絡する自動車専用道路。延長約85kmのうち約34kmは開通済。
- 関越～東名間の延長は約16.2km(市内は約1.4km)。幅員は40～98m(市内は40m)。車線数は6車線。市内全域が大深度区間(地表から40m以深を使用)。
- 計画交通量(H42年)は84,000台/日(市内区間)。

### 2 主な経緯

昭和38年	3環状9放射ネットワーク計画策定
昭和41年7月	都市計画決定(高架方式)
平成19年4月	都市計画変更(地下方式)
平成21年4月	国と都が「対応の方針」とりまとめ
平成21年5月	事業化
平成26年3月	大深度地下使用の認可、都市計画事業承認及び認可
平成26年4月	本線シールド工事契約(工事期間:H26.4～H31.10)

### 3 現在の状況

現在、JCT部の立抗等工事及び用地取得が進められており、東京オリンピック・パラリンピック開催までの開通の可能性について検討が進められている。

市内は大深度区間であり、地域住民からは、青梅街道ICによる交通影響、大気質への影響、地下水の変化による地盤沈下などに関する不安や懸念の声が寄せられている。

市としては、国交省などの事業者に対し、事業の実施にあたっては、交通や環境などの課題の解決のための方針である「対応の方針」を確実に履行するとともに、適時適切な情報提供により地域住民が抱く不安や懸念を払拭することを要請している。

## ■外環の地上部街路（外環の2）について

### 1 事業概要

- 外環の2(目白通り～東八通り)の延長は約9km(市内は約1.4km)。幅員は40m(練馬区間の標準幅員は22mに変更)。車線数は規定なし(練馬区間は2車線)。
- 計画交通量(H32年)は14,000～17,000台/日(市内区間)。
- 話し合いの会は計20回開催(H21.8～H26.12)。

### 2 主な経緯

昭和41年7月	都市計画決定
平成20年3月	「検討の進め方」発表：検討の視点と検討のプロセスを明示
平成26年12月	第20回地上部話し合いの会開催

### 3 現在の状況

平成20年に公表された「検討の進め方」に基づき、沿線区市ごとに地域住民との話し合いの会が開催されている。

武蔵野市における話し合いの会では、現在、必要性(整備効果)に関する質疑応答や意見交換が行われており、引き続き、広く意見を聴きながら検討を進めていく予定。練馬区間では話し合いの会などが開催され既に都市計画変更されている。杉並区間では計12回の話し合いの会が開催されており、三鷹区間では話し合いの会は未開催という状況にある。